

2024年秋号あやかりの杜図書館 YA 担当発行

村内の中学生・高校生みなさんに YA 向けの新着本やオススの本を紹介する「NEWS@あやかりの杜図書館 YA コーナー」です。最近図書館に行ったのはいつですか？自分の通う学校の図書館、公共図書館、なんだったら気まぐれに立ち寄った本屋さんでもいい。そこではお目当ての本に出会えたかな？気になる本を見つけたかな？次に行く時はいつもなら見もしない棚から見てまわってみて。・・・今年の秋に運命の一冊に出会えますように。・・・今のあなたの心に響く本が見つかりますように。

おすすめの新しく入ったよみもの



タイトル	著者	出版社
ザ・ブラック・キッズ	クリスティーナ・ハモンズ・リード	晶文社
キングと兄ちゃんのトンボ	ケイスン・キャレンダー	作品社
闇に願いを	クリスティーナ・スートーンヴァット	静山社
はーばーらいと	吉本 ばなな	晶文社
ヘルンとセツ	田淵 久美子	NHK 出版
これが生活なのかしらん	小原 晩	大和書房

YA 文芸ホリオコシ「少し古いけど読まずに大人になるにはもったいない作品」を紹介するコーナー

『トンネル』シリーズ ゴマブックス (2008年8月)
ロ德里ック・ゴードン, ブライアン・ウィリアムズ／共著
内容紹介: ウィル・バローズは家族とともにロンドンで暮らしている14歳の少年。ある日、ウィルは忽然と姿を消してしまった父親が、ひそかに掘り進めていたトンネルを発見する。親友のチェスターとともに、故意にふさがれたトンネルをウィルは掘り直し、父親の捜査に乗り出すが…。トンネルの先で彼らが見つけたものとは…人生を犠牲にするかもしれない秘密だった…。

<著者について>

大学時代によく一緒に小説をかいていたゴードンとウィリアムズは、ゴードンが務めていた銀行をリストラされたのを機に再会する。二人は再び小説を書くことを思い立つ。そして2004年の夏『トンネル』(原名『Tunnels』)を書き上げた。

おすすめの新しく入ったテーマの本



「総合学科高校 中学生のキミと学校調べ」小杉 真紀 ほか／著 ペリかん社
単位制で自由に科目を選択し職業選択を意識しながら学ぶ「総合学科高校」。勉強の内容・行事・卒業後の進路などを、教員や生徒、卒業生へのインタビューを交えて紹介する。



「大学進学のための“返さなくてよい”奨学金ガイド」給付型奨学金研究会編 産学社
日本の給付型奨学金の主要なものを網羅したデータブック。2000以上の給付型奨学金を紹介するほか、日本の奨学金制度の現状、大学生活にかかわる費用、2020年度からスタートした国の給付型奨学金なども概観する。



「10代に届けたい5つの“授業”」生田 武志 ほか／編著 大月書店
学校では学ぶ機会がほとんどないけれど、本当は身近で大切な問題がある。ジェンダー、貧困、不登校、障害、動物という5つのテーマで、自分とはちがう生き方をしている人たちと、本当の意味で出会う授業。



「それはわたしが外国人だから?」安田 菜津紀／著 ヘウレーカ
日本の入管政策に翻弄されてきた外国にルーツのある4人の生きた道のりをたどり、彼らがどんな困難に直面してきたかを平易なことばでまとめる。入管法や難民の人たちをもっと知るためのQ&Aも収録。



「大学で心理学を学びたいと思ったときに読む本」日本心理学会／監修 誠信書房
大学で心理学を学びたいと考えている高校生に向けて、心理学が扱う多様な最新の研究領域を紹介。進学先の見つけ方、心理学を学ぶ上で必要なスキル、就職先など、大学で心理学を学ぶにあたって生じる疑問にも答える。

あやかりの杜図書館 HPへGO!



NEWS@あやかりの杜図書館 YA コーナー よろしくね!

